

COME AND GO 取扱説明

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

使用上の注意点(重要!)

※本機は必ず付属の専用アダプタを使用して下さい。また、専用アダプタを他のエフェクターに使用すると、故障する可能性がありますので、お気をつけ下さい。

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※AC アダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・AC アダプタの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときは AC アダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

※オペアンプは故障時のメンテナンスの為、ソケットを使用しています。ご自身での交換はお控え下さい。

■電源■

必ず付属の専用アダプタをお使い下さい。(センタープラス、DC24V)

■消費電流■

約32mA

■サイズ■

120 (W)x 43 (H)x 70 (D)mm

■重量■

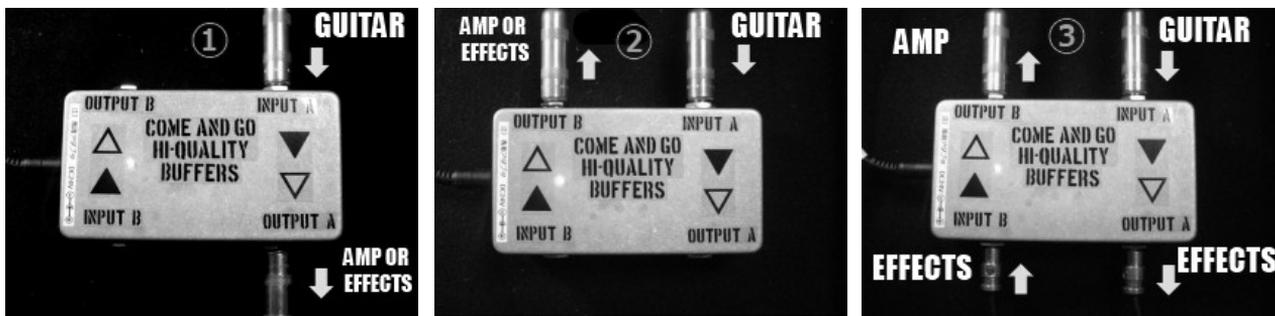
約260g

■その他■

電源接続時は常時ONとなります。

■解説

“COME AND GO”にはバッファーが2つ搭載されており、接続の仕方によって3通りのバリエーションが得られます。



① 1段掛け

[INPUT A→OUTPUT A]

あるいは

[INPUT B→OUTPUT B]

シンプルにバッファーを1回通したい時にこの方法で使います。

※右側と左側のバッファーは効果、キャラクター共に同様です。

② 連続2段掛け

[INPUT A→OUTPUT B]

OUTPUT AとINPUT Bに何も接続しない時、連続で2つのバッファーを通ります。

バッファーのキャラクターを色濃く付けたい時にこの方法で使います。

より濃厚で弾力のある高級感あふれる音色が得られます。

※右側のバッファーを通り、内部で右側のOUTPUT Aから左側のINPUT Bへ繋がり、左側のバッファーを通してOUTPUT Bから出力されます。

③ イン、アウト2段掛け

[INPUT A→OUTPUT A→エフェクター→(単体 or 複数)→INPUT B→OUTPUT B]

エフェクトボードのイン、アウトにバッファーを掛ける使い方です。

エフェクトボードのジャンクションボックスとして使うことができます。

エフェクターを通った後の信号はローインピーダンス化しているので、一般的には後段のバッファーは必要無いとされていますが、この場合、バッファーとしてよりもサウンドのキャラクターをまとめるアジャスターとしての効果が得られます。

この方法で接続すると、音に一貫性が出て各エフェクター間の音色調整やバランスが取り易くなります。

また、全体的に音がぐっと前に出て、音抜けが良くなります。

※右側のバッファーを通り、エフェクトボードを通り抜けて、最後に左側のバッファーを通してOUTPUT Bから出力されます。